夕刊
新京日日新聞

定價 一箇月 金一圓八十錢 郵税 一箇月 金三十錢 一部 金五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 三一三〇〇番・二五三二番
發行人 十河榮男
編輯人 松本啓二郎
印刷人 谷力

日滿製鐵の委員會設置さる
日滿經濟統制は製鐵ブロックから

【東京廿六日發國通】日滿經濟統制に關しては、先きに其の根本方針の確立を見てゐるが、今次更に製鐵事業に就き二十五日の閣議で日滿經濟ブロックを圖ることに一決した其の具體的方策としては滿洲國側は本溪湖と昭和製鐵所を合流せしめるものを單位とし我が國は今次申請せんとする日本製鐵株式會社を一單位とし、兩者に於ける生産販賣の大方針に關し之が具體的實行を審議決定實施する爲め日滿製鐵委員會を設置することとなり、滿鐵、拓務省、軍部、商工省の各役員其の他に依つて同委員會を構成、商工省内に設定するものと見らる

佳木斯屯墾隊 渡滿最初の犧牲者

【ハルビン廿六日發國通】佳木斯屯墾隊は二月十一日紀元節をトして出發、十二日豫定の永豐鎭に到着したが、大石頭河子にあつた周萬青は逐次兵力を駄腰子に集結、永豐鎭へ襲撃準備中なるを探知した屯墾隊は機先を制し、十三日吉林軍と聯合軍を組織して之を討伐、周萬青は大石頭河子に逃亡した、敵の損害死者十、我屯墾隊は一名戰死、渡滿最初の犧牲者を出した

新賣値は一樽七圓見當で三四十錢方の値上げであるが右は諸原料の一齊昂騰の爲めであると（京城特信）

つぶしを豫想され居り、恩給法改正案、臨時管理法、米穀統制法の重要法案が未だ委員會で質問續行中で、以上諸法案中豫算案赤字公債の他は未だ全部衆議院に提起されてゐない有樣で、又貴族院では分科會、委員會等で、審議中の外三月十日前後に至れば衆議より相次いで貴族院に送附される諸法案で貴族院は法案の洪水に見舞はれ當初無風帶の如き議會は之等法案を迎へ貴族院で相當の活氣を呈するものと見られてゐる

朝鮮貿易協會
四月から本格的活躍
對滿貿易刷新に邁進

【京城特信】滿洲に於ける朝鮮の商圏擴張、劃期的飛躍を期し日滿經濟提携に資せんとする朝鮮在住日鮮人總意の結晶として孤々の聲を擧げた、朝鮮の對滿貿易協會は今回朝鮮貿易協會と改稱し愈々四月より社團法人に改組すると同時に本格的に事業を開始するが當面の緊急問題は安東、奉天間貨客運賃不當高率低減と特定割引運賃制度を鮮滿二線連帶貨物に均霑せしむる事陸境互惠關税の實現鮮滿出入貨物の局鐵特設運賃制實現綿糸布等の現行移入税撤廢の内地同樣營業税撤廢、取引資金の充實潤澤等であり、之れが貫徹實現を期する意氣込みで其の活動開始後が期待され日滿貿易の進展は一に同協會の双肩に懸つてゐる

朝鮮燒酒値上げ
諸原料一齊昂騰の爲め

三井の統制下にある朝鮮の新式燒酎は舊正月關係で需要期なるにも拘はらず政策上一二月は賣出を中止してゐたが愈々四月より本格的向需期に入るので三月一日を期し新値を以て賣出を開始するが、右

審議未了の諸重要法案

【東京廿六日發國通】第六十四議會も既にその半を過ぎあと一ケ月足らずとなつた今日政府より提案の豫定でありながら未だ提案を見ずにある重要法案は負債整理組合法案關税定率改正案、擔保付社債發行法案滿鐵英貨社債肩替り法案、兒童虐待防止法案、八年度追加豫算案等で、更に重要法案にして提案され未だ委員附託にならずにゐるものは選擧法改正案、製鐵合同會社法案、通信特別會計法案で此の中選擧法改正案は早くも握り

菓子行商の益金で
獨立守備隊を慰問

獨立守備隊は其徴募區域が日本全國に渡つてゐる關係上、他の出征在滿部隊に比すれば慰問品其他の配給が尠ないのを聞いて、山口縣宇部第四部青年團第一支部田口逸惠氏外二十餘名が夜間一袋十錢の菓子を行商してそれより得たる純益金二十圓二十五錢を宇部市役所を經由して最近獨立守備隊に送金して來た、司令官以下そのやさしき心根に感動して寄贈者の心根に酬ゆべくよりより協議計劃中である

熱河に就て（一）

一 緒言

昨年十二月八日、山海關に於ける支那軍の我が裝甲列車に對する不法射擊事件、及本年初頭に於ける山海關日支兩軍の衝突事件は、局部的事件なるにも拘らず。熱河省問題と相絡んで世間に相當の衝動を與へたのは、一に事實の本質に對する認識の不足なるに因る

蓋し熱河たるや元々滿洲國の一省であることは、大同元年（昭和七年）三月一日滿洲國の建國に際しての獨立宣言及同年三月十二日附の滿洲國政府外交總長謝介石が、列國に對する國家成立に關する通告文の劈頭に於て「奉天、吉林黑龍江、熱河各省。東省特別區、蒙古各族盟が結合して一獨立政府を組織し、一九三二年三月一日を以て中華民國より分離し滿洲國を創設したることを通告するの光榮を有し候」と公言しあるに徴しても明であるのみならず、事實問題としては。現に熱河省長湯玉麟は滿洲國參議府副議長である、故に事熱河に關する限りは滿洲國の國内問題であつて、該省内に於ける出來事に對して如何なる處置を執るも全く滿洲國の隨意で、何等他の容喙干渉を容るべきものでない。かの聯盟國調査委員リットン卿が其報告に於て、滿洲國の建國を見たるにも拘らず、恰も熱河を他の部分なるが如く取り扱ひあるは斷じて承服し得ざる所である、これに反し十二月初旬及び本年初頭の山海關事件は、國境附近に存在せる不軍紀にして而も徒らに抗日氣分に充滿せる支那軍隊の不法暴戻なる挑戰が該地守備に任ぜる帝國軍隊をして自衞行動に出づるの餘儀なきに至らしめたるものであつて、全く局地的事件に過ぎぬのである。世上之を以て熱河方面と相關聯しあるが如く喧傳せるは、支那側一流の宣傳に迷はされたるものであつて、支那側は之に依り災害平津地方に及ぶべしと宣傳して外國の干渉を呼ばんとし、又一方平津と山海關事件と熱河問題とを一緒なるが如く宣傳し、乃ち山海關事件を利用して、一つには第三國や國際聯盟あたりの日支問題關與の度を含、煽り、一つには失はれたる民心と面子とを國内に繫がむとする奸策に他ならぬのである

而して滿洲國たる其基礎着々として固りつゝあるが何分建國後日尚淺く、加ふる學良一派の策動に因る擾亂動作に依り、今日の狀態を以て直に文明列國の治安確立の狀態と比較する能はざるは當然であつて、熱河問題の如きも尚幾多の錯節を經ねばならぬことゝ信ずる。依て此際熱河方面の事情を明にするは世上のまどいを解く上に於て必要なるものと認め此の稿を起したのである

二 熱河省の沿革

熱河省は察哈爾、綏遠省と共に所謂内蒙古の三特別區域であつた所で東は奉天省、西は察哈爾省、南は河北省、北は興安省に接して居る、即ち前清時代に於ける内蒙及び熱河府等の諸地である

民國三年（大正三年）外蒙古庫倫の獨立以來邊防の重要なるに鑑み、特に三特別區域を設けて之に備へ、民國十七年（昭和三年）九月察哈爾省、綏遠省等と共に熱河なる現省名を附した

本省は由來蒙古人の遊牧地であつたが、清朝乾隆年間以後山東河北の漢民族が、次第に流入して農業を營むもの多く清朝は當初之を禁壓したが後には開放開拓の政策を採り、民國成立後も其政策を踏襲し近年に至りては交通の發達に伴ひ益益此勢を助長し、現下に於ては本省の大部分は縣治を布かれて居る狀態である、從つて人口の如きも其大部分を占むるものは漢人である

怪人凱歌（くわいじんがいか）

（禁上演映畫化）須藤鐘一 作　瀧秋方 畫

（百五十九）

蕎麥（十一）

「その婆あさんは、何とか云ひましたな？」

と岡野探偵長。

「お豊婆あさんで通つてゐますやうです」

と專宗寺の寺男。

「ありがたう。それおやかへりがけに茅ケ崎の方も散策にまはる積りですから、一寸たづねて見ませう」

「さうなさいませ、驛前の車屋でお聞きになれば直ぐに分りませうから」

岡野探偵長は、こゝまで聞くともう心こゝにあらず、一刻も早く其のお豊婆あさんに會つて、當時の模樣を尋ねて見たくなつた。そこで、早々に寺を飛出し、岡田屋に泊ることも中止して驛の方へ大急ぎで下つて行くのだつた。

彼が茅ケ崎の驛に姿を現はしたのは其翌朝のことだつた。教へられたやうに驛前の車屋で訪ねると、ドテラを着た禿頭の主人が出て來て、

「ああ、お豊婆あさんですか。つい昨日も此處の前をとほりましたよ。婆あさんの家は此の川尻の欄の袂にあるんですがね。よく留守をしてゐますから、若し雨戸がしまつてれば、何處かへ手傳ひに行つてるのです」

「ぢや、兎に角行つて見ませう」

と、岡野は車屋を離れた。

「飲んべですからな。家にゐたら朝つぱらから茶碗酒をあふつてくだをまいてますよ、ハツヽヽヽ」

と、車屋の主人は付け足して愉快さうに笑つた。

お豊婆あさんの家はすぐに分つた。いゝ鹽梅に家にゐて、かまどの下にしやがんで火を焚いてゐるのだつた。探偵長は相變らず呉服商人らしい顔をして入つて行つた。

「お婆あさん、何か買つて下さい見るだけでもいゝですから……」

とつとめて親しげに云つて背負つた荷物をおろし、老婆が呆氣にとられてゐるのに、ドン〳〵反物を出してあがりかまちへ並べるのであつた。

「まア〳〵待つて下さい。折角見せていたゞきましても、何にも買はれませんから……」

と、お豊婆あさんは慌てゝ押しとゞめる。

「なアに、今すぐに買つていたゞかなくても、見てさへいたゞけばそれで結構でございます。お婆あさんは世間師で、交際が廣いからそのうちいろんなところへ紹介していたゞき度いと思ひましてな」

など云ひながら、そこら一面に並べ立てる。

そして其の中からお婆あさんに向きさうな地味な縞銘仙を一反取り出してハトロン紙に包み、

「之はつまらぬ品ですが、ほんの私の志しで、お婆あさんに差上げ度いと思ひますから、とつておいて下さい」

それがあまり意外だつたので、お豊婆あさんは眼を圓くして、

「まア、そんなことをしていたゞいては困りますが……」

「なに、兎に角取つておいて下さい。粗末な品ですが……」

岡野は無理にそれを押しつけてしまつた。

お豊婆あさんは、急にニコ〳〵して、薄つぺらな座布團をすゝめたり、澁茶を汲んで出したりしてもてなすのであつた。

此方は、だん〳〵思ふ壺にはまつて行くのを、内心喜びながらも飽くまでそしらぬ顔で、

「ところでお婆あさん、わたしまだ朝の御飯をいたゞかないんですが、この近所にお蕎麥屋か、おすしやでも無いでせうか？」

「お蕎麥屋はまだ用意をしてゐないかも知れませんが、何ならおすしでも取つてまゐりませうか」

「なに、私が行つてもいゝですが……」

「いや、つい其處ですから、わたしが行つて來ます」と、お豊婆あさんが行きかけるので、

「それぢやアお婆あさん、すみませんが之れで二人前とつて來てくれませんか。――」と、五圓札を渡して「それから、おついでにお酒も二合壜を二三本買つて來ても晩でも、御飯の時には、ちよつと一ぱいやらないと淋しい氣がしますのでな。御迷惑でせうが、お婆あさんにお相手をしてもらひませうよ」

と、岡野は揶揄のやう

熱河の征戰順調に進む

討熱戰線最初の大激戰は展開さる
地雷火、鐵條網も何のその
忽ち敵匪敗退の色

〔綏中廿五日發國通〕午前十一時熱河省境山嶽地帶に我が討熱戰線最初の大激戰が展開された、我が服部部隊麾下の米山先遣部隊は午前八時三十分出動敵部隊の最抵抗戰たる山叉山の天嶮を一擧に征服せんとばかり勇躍〇〇に迫るや俄然約二千の敵は山頂より砲門を開いて猛射を浴せかけ、我軍之に應戰し殷々たる銃砲火の轟き、飛行〇〇隊の應援爆擊、頂上の山谿に痛烈極まる戰鬪が開始された　我が勇猛果敢な北海の精鋭、裝甲自動車、タンク等の近代兵器あり、加ふるに興安嶺の突破、滿洲里一番乘りで勇名を馳せた矢崎、沖参謀あり　敵軍叉孫德全の指揮する鐵血軍及び其の名を知られた鄭桂林軍の强力部隊、その要害に半永久的な塹壕を構築し、鐵條網を廻らし地雷火を敷設し、飽く迄抵抗を試みんとしてゐるが〇〇隊の〇〇機〇〇臺は此の戰鬪に參加し、敵陣地を空爆す敵は我が軍の威力に鬼膽を拔かれ早くも敗退の色を見せてゐる

先鋒茂木部隊は開魯南方を進擊中

〔海力火燒廟二十七日發國通〕二十三日通遼を出發した茂木部隊は二十五日晝八セコト（開魯南方十二（三）里）に入り　敵の西南を追擊中池田部隊も二十五日晝興隆地に入り自動車隊は急追して捕虜多數を得池田部隊は二十五　夕刻海力火燒廟（通遼西南二十里）鞍ハツコトに向け進擊を開始した

米山先遣部隊出動

〔綏中廿六日發國通〕行動を開始した部隊の榮ある先鋒を承つた米山先遣隊は〇〇〇臺軍用自動車に分乘、敵が難攻不落と恃む天然の要害〇〇〇〇〇を一氣に突破すべく轟々たるエンヂンの音を寒空に響かせながら綏中熱河街道を一路北進する、時に二十六日午前八時三十分、先頭の自動車には米山先遣隊長と並んで滿洲里一番乘りの殊勳者矢崎參謀のドツシリした巨軀が見える、記者が「又今度もウントやつて下さい」と言へば、「ウン見て居て呉れ、ウンとやるよ」とニツコリ微笑みながら。自信に滿ちた眼を光らせる米山先遣隊も必ず目醒しい働をするに相違ない、相手には雲霞の如き鄭桂林軍及び精鋭を誇る孫德全軍が天嶮に據つて日本軍いざ來い來れと待つてゐる、一大激戰は數時間の後に迫つてゐる

茂木部隊はカツタイラ入城

〔開魯二十六日發國通〕當方面より西進中の茂木部隊は昨二十五日正午ハンガアイラ「開魯下窪街道上」を通過して南進中である、本部隊先遣隊は之をくれた六、七百の匪軍を追擊して同日午後四時半、カツタイラを占領した、尚其の他の友軍も續々進軍中である

討熱軍南部方面の戰況

〔錦州二十六日發國通〕鈴木部隊は二十五日拂曉正面の敵を驅逐し、李家口北方高地よりその南方大凌河南岸高地に亘る線に展開し敵の主力陣地を攻擊した松田部隊の主力は二十五日早朝より桃花園東方地區に集結中の敵匪を包圍攻擊し之を追擊しつつ朝陽西方地區に迫つた、一方橋本部隊は蚍牛營子を二十五日拂曉出發早川、田中、三宅三部隊の戰鬪に協力し主力を以て分頭營子附近の陣地を占領し早川部隊と協力し躍進中である、三宅部隊は鳳凰山南方地區より敵の主力を攻擊し敵を壓迫しつゝあり、二十四日以來の戰鬪に於ける我が軍の損害は前川大尉輕傷、下士官以下七名負傷、田中部隊、負傷下士官以下五名砲兵下士七名である

李海青匪軍
一溜りもなく潰亂

關東軍司令部午後五時發表茂木部隊は二十四日開魯から南進の途中、李海青の指揮する兵匪約八百がククチヨル附近に宿營してゐるのを偵知して夜襲を試みたるに敵は一溜りもなく死體二十と多數の兵器を殘して南方に潰亂した茂木部隊は直ちに一部を以て敗敵を興隆地方面に追擊せしめた

紗帽山の陣地を
今正午一齊に砲擊

〔大李家屯廿七日發國通〕米山先遣部隊長よりの戰狀報告に接した服部部隊は、今曉三時急遽出動先遣部隊との合隊を急いでゐるが晝前には紗帽山の敵第一陣地に迫るべく、要害に據る吾に數倍する敵に對する我が軍戰は極めて愼重、愈々兩軍の火蓋は切られ敵の死命を制すべき一大決戰は迫り二十七日午後零時には全軍の砲口一齊に開かれ全軍勇士の意氣や當るべからざるものあり

服部部隊の前面に
横はる堅固な敵陣地
＝天嶮に學良の精鋭死守＝

〔大李家屯廿七日發國通〕熱河討伐の最難鬪と目せられる服部部隊の前面に横はる敵陣地は、五線に亘り、紗帽山、石屯子、頭道河子、幽嶺、北章營子の順になつて居る。いづれも濠割は三キロから五キロに及び幾上から偵察すると驚くべき深さを持つて居る、尚優れた兵二千を有する紗帽山は學良の前衞一ケ團で服部部隊が如何にして此の難攻不落の陣を攻略するかは極めて重視されて居る

破竹の松田部隊

〔錦州廿六日發國通〕二十五日早朝朝陽出動の松田部隊は朝陽方面に襲擊して來た敵五千を完全に擊破後、更に前進二十六日正午遼源街道を横切り一路〇〇に向つたが午後二時早くも〇〇前面に迫つた

服部部隊出動

〔綏中二十六日發國通〕綏中に待機中の服部部隊は二十六日午前七時半〇〇〇に向け出動した

我米山先遣隊
夜明けの猛擊を待つ

〔大李家屯廿六日發國通〕熱河討伐の火蓋を切り二十六日午前七時綏中を出發、自動車で當地を通過、自動車は嘗てしては嘗つてない難行路を突破せる服部部隊の先遣隊米山部隊は〇〇〇自動車で櫻間大尉の指揮する軍用自動車で熱河を去る〇〇里の地點〇〇〇に接近した同地點前方の紗帽山には天然の要害を利用して造られた第十九旅の孫德■の正規軍の堅固なる第一線地ありまた夕刻から敵の擊出す地威的砲聲が斷續して聞え彼我の正面衝突は目睫の間に迫つた感あり先遣隊將士一同片唾を呑んで夜明けを待つてゐる

赤峰大混亂に陷り
承德への征馬進む

〔開魯二十六日發國通〕茂木部隊の急進と劉桂堂軍の林東街道前進の報に俄然赤峰は大混亂に陷り、騎兵第十旅石文華も愈々湯玉麟及び張學良軍と絶縁の決意を固め、自己の部下に赤峰集結を命ずると共に愈々王道滿洲國軍と呼應して積極的に熱河省城承德に向つて進擊すべく已に萬端の準備を完了した、石文華の騎兵旅が滿洲國の五色旗を飜へして參加し一氣に承德の側面を衝くのもここ數日中となつた

朝陽附近の
敵左翼陣地を奪取

〔朝陽廿六日發國通〕朝陽附近に於ける敵の左翼陣地桃花吐、桃花山方面に向つた松田部隊は二十五日早朝より攻擊を開始し、午前八時までに左翼陣地を占領し敵に多大の損害を與へた、尚右の戰鬪で敵は朝陽周圍の既設陣地を利用

我が航空隊
勇躍出動

〔綏中二十六日發國通〕石門嘴遼門一帶の天嶮に據り頑强に抵抗を試みつゝあつた孫德全、鄭桂林を攻擊せる米山部隊の攻擊を掩護するため、今朝我、航空隊、森田、八木兩中尉の指揮する〇〇機は白石嘴遼門を爆擊す可く急遽出動した

防寒具類を
飛行機から落下支給

〔關東軍司令部發　〕軍は熱河省北部に行動する部隊の爲めに飛行機より所要の防寒具を投下し將兵の保健の萬全を期してゐる、蓋し北方作戰に於ける劃期的の計畫であるといふべきである

日滿軍の開魯入城は
通遼開魯市民に
安堵を與ふ

〔通遼廿六日發國通〕日滿聯合軍開魯入城によつて通遼開魯街道の交通聯絡は完全に回復し、乘台自動車も二十六日より開通した同時に通遼市民も俄然活氣を帶び商人等は續々と開魯との取引を開始し、何れも皇軍の下、滿洲國の王道の光に心から感謝してゐる

秦皇島避難
邦人
けふ山海關上陸

〔山海關二十六日發國通〕秦皇島からの避難邦人をのせた怡中丸（二六〇噸）は二十六日午後二時山海關沖に到着したが、海岸結氷　爲上陸出來ず波止場にて旗信號の連絡し、明日を約して一先づ秦皇島に引返した

朝陽方面の
我軍
敵右翼を急逐中

〔錦州廿六日發國通〕朝陽方面の我が軍は二十六日拂曉より凌河南岸、鳳凰山、蚍牛營子の三方面から全線にわたり攻勢陣を展開、敵の主力陣地を攻擊或は包圍して右翼を西方に向つて急逐中である

抵抗することを斷念し、午前十一時朝陽西方に潰走した我が空軍は更に凌源附近の敵軍に爆擊を加へ多大の損害を與へた

北票鐵道
修理完成

〔關東司令部發表〕軍が既に占領した北票鐵道の補修は既に完成し昨日列車を運行せしめてゐる

聯盟に提出せる
帝國政府の陳述書

〔東京廿六日發國通〕帝國政府が聯盟に提出した陳述書の要旨左の如し

△第一部　日本の國際聯盟との協力

日本は聯盟の發達成功に對し十四年に亘り協力を與へ來れり、日支紛爭は支那の要求により聯盟理事會の審議に附せられたが、日本の行動は支那側の攻擊に對する自衞の爲め余儀なくせしめられたに過ぎず、聯盟と我國との見解の相違は聯盟が極東の事態に對し理解を缺除せる爲めに生じたものなり、日本は支那の現狀を理解し得る樣調査委員會の派遣方を提議せり、然し委員會の報告書は眞相を傳へるに足るもさなし得ざるもの多かりき依つて日本は昨年十一月十六日報告書に對する意見書を聯盟に提出したり、その後日本の同意無く任命した十九國委員會は規約第十五條第三項により、和協に關する決議及び理由書を起草せり、右に對し日本は滿洲に對する現政權の維持及び承認を解決と認め難しとなす點全部の消除を要求せり、一方日本は聯盟との妥協點を發見する爲め最後迄折衝を續け種々提案せるも遂に何もの效なかりき、斯くて十九國委員會は第三項に依る和協を不可能として第四項に依る報告書を起草し、二月二十四日、日本の反對投票に拘らず總會に於て右報告書採擇せられたり

△第二部　報告書の誤謬

報告書が紛爭の事實にリツトン報告を基礎させるは遺憾なり、報告書は九月十八日事件以後に於ける支那の對日ボイコツトか報復手段の範圍に屬すも事に同意しをるも、右は支那に利害關係を有する各國に對し將來紛爭の種を蒔くものなり、又報告書は九月十八日事件は日本側自衞の爲の行動と認むるを得ずと爲せり、日本政府は支那のボイコツトか報復の部類に入るものなりとの報告書の結論を否認す、報告書は滿洲國の獨立か自發的のものならずと爲せるも、これは調査委員會報告書の誤れる結論を採用せるか爲なり

△第三部　實行不可能なる勸告

一、支那の如き全く變則なる事態に、聯盟規約パリー條約を紛爭處理の基準として、その原則を提供するに當つては成程度の伸縮性を與へる事必要なり

二、報告書は日本軍隊の撤退を勸告し居るが、日本軍の駐在は何等法的原則と矛盾するものにあらず、日本軍隊は日滿議定書に基き滿洲國内に於ける治安維持の任に當るべき責任を有するものなり

三、滿洲の主權が支那に屬する旨を述べてゐるが滿洲は一九一六年後は曾て支那の權力に服したることなし

四、……略す

五、交渉委員會設置の件は、滿洲問題に對し必ず第三者の介入も許さずとする日本の主張に相反するものにして、斯くの如き提案を受諾することは絶對に不可能なり

△第四部　結論

日本政府は九月十八日及その後に於ける日本軍隊の行動は何れも自衞手段としての範圍を脱せざることと及び滿洲國は滿洲住民の自發的意志に基き成立せし事を確信す、從つて日本政府はその軍隊の行動も日滿議定書の締結も聯盟規約九國條約、パリー條約又はその他の如何なる國際條約をも侵害せざるものと思考す滿洲國は迅速なる發達を遂げ外國人及滿洲國住民は一樣に利益を享け居れり、右は滿洲國の承認を以て滿洲問題の滿足なる解決方法とし、東洋に於ける平和維持の唯一の方途なりとする日本の主張が誤り居らざる事を示す具體的證據なり

米國は總會報告を
支持に決定す

〔ワシントン二十五日發國通〕聯盟より、二十一ケ國諮問委員會參加招請狀を接受した國務長官スチムソン氏は總會の報告と原則的に支持する旨の回答を發するに決した

聯盟代表首腦部
引揚げ完了

〔ジユネーヴ廿六日發國通〕澤田氏以下九名は二十六日午後十時四十五分ジユネーヴを發した、かくて聯盟代表の首腦部引揚げはここに完了し殘るは情報部のみとなつた

堀田公使を殘し
他の四全權引揚げん

〔壽府廿六日發國通〕聯盟と政治的に非協力に決定した日本の、軍縮會議に對する態度注目されてゐるか代表部は積極的には聯盟と協力せざる方針で進むに殆んど決定、政府の訓令の到着を待ち、堀田公使を殘し松平、長岡建川永野の四全權引揚げの模樣

聯盟脱退後の
帝國政府の態度
差當り起る諸問題協議

〔東京廿七日發國通〕帝國の聯盟脱退に伴つて如何なる影響を蒙るかに就き首腦部で研究中であつたが、取敢ず起りする諸問題中

一、南洋委任統治問題
南洋群島の存在は海軍の太平洋策戰に最も重要性ありその主權の所在に就き種々の議論があるも、帝國海軍としては主權は我に在りとの解釋の下に、實力を以て防捲する覺悟た

二、海軍軍縮問題
今日■盟脱退■、軍縮會議

三、經濟封鎖の問題
聯盟が制裁規定を適用して、經濟封鎖の如き手段を以て壓迫を加へて來た場合には、飽く迄實力を以て對抗すべく萬全の準備を爲さねばならぬ

かもも脱退すべしとの輿論あれど、海軍はワシントン及びロンドン兩條約に束縛されてゐる關係上、聯盟とは軍縮以上に密接なる關係を保つ必要あり、聯盟を引揚げても適當なる代表者を駐在せしめる模樣

松岡代表等
壽府出發

〔ジユネーヴ廿五日發國通〕松岡全權一行引揚げの日はめづらしい好天氣、書類、其の他二十數個のトランクは香取丸に積込む爲め、今朝マルセーユへ送られ、一行の荷物はトランク二三個の身輕さ、一行は松岡、古澤秘書官、辻屬官、堀口事務員等會議終了でジユネーヴを發つ外人記者五六名も賑かに同車見送りの長岡、佐藤、建川永野を■■、握■をして

世界戰爭を
誘導せん
サンデータイムスの所論

〔ロンドン廿六日發國通〕サンデータイムスは社說欄で某ーキ撤迴隊の活動の中を午後二時半パリーに向つた外交權威匿名の日支問題評論を連載して居るが、本日の評論で聯盟が法の概念を不適當に適用、日本に對し和協精神を以つて臨まず日本の苦衷を理解しなかつたことを述べ、日本から滿洲を奪へば世界戰爭あるのみ、と論じ「支問題の解決は政治的見識に依る可きことを力說」

海軍大尉
墜落殉死

〔東京二十六日發國通〕海軍省發表＝航空母艦鳳翔乘組員大尉福森良雄氏は艦上飛行機を操縱、飛行訓練中二十五日午前九時四十分豐後水道に墜落殉職した

非常時に捧ぐる 彼女らの赤心

今度は曙樓の藝妓連 金百圓を寄附申出

二十六日日曜日の正午ごろ美しい姐さん達三人が打揃つて滿鐵新京事務所を訪れたものであろ、何事だらうと思ふと曙樓『料亭』の藝妓一同として金一百圓也を時局後援會に寄附したいとポンと投出して引下つた、彼女らは同樓の竹千代、市千、芳丸の三姐さん達で時局重大の時會の活動資金の一部にぜひ使つて貰ひ度いと三人が一同を代表して出かけたものであつた、竹千代姐さんは語る

「私どものほんの志に過ぎません、今や日本は孤立の狀態で非常時に直面してゐるこのときです『私共』も何んだかじつとしてゐられないやうな氣がしてなりません、けふ一同申合せて醵出し吾々代表となつて持つて參りました、幾分でもお役に立てば望外の喜びです」と

あり、一般からその離京を惜まれてゐる

騙取の夫婦捕はる

岡山縣生れ住所不定、藤野勉（三三）は大連蓬坂町料亭一樂抱へ藝妓小高こマサ（二七）と馴染を重ねてゐた昨年九月前記小高を落籍することになつたが、金に不足を來し沙河口元町七十六豐浦　方から言葉巧みに前後五回に亘つて百五十圓を騙取し、本年二月二[illegible]日午後十時小高を連出し、手に手を取つて新京に逃走、城內北門外七馬路今井覺誠方に潛伏中を沙河口署の手配により新京署池田刑事が逮捕、身柄は二十七日沙河口に移送した

滿洲學會の支部新京に設置

滿洲に於ける歴史考古、土俗、社會、言語、文學、宗敎、美術、等各方面の研究に携る者が相互に研究の連絡を圖り且研究の結果を研鑽すべき機關として同志相會し滿洲學會なるものを昭和六年九月十一日創立し、本部を大連、支部を奉天におき毎月の例會は勿論研究發表の機關誌として「滿洲學報」を發行し事業目的の遂成に努めてゐたが最近新京にもその支部設立の聲おこり文敎部岩間德也氏及滿洲文化協會新京事務所主任奧村義信氏の斡旋により設立を見る模樣で、近く同志相集り協議を行ふなほ設立の曉は大連、奉天の關係上支部事務所は圖書館內に置く意嚮である

赤露が國境に鐵道砲臺を構築

對日滿警戒を嚴にす

【ハルピン二十六日發國通】ハイラルに逃走し來れる一ブリヤード人の齎らした所によると、ロシアはザバイカル鐵道ボーロチヤ驛より西方百露里ソロブイヨフ屯に鐵道支線を敷設し家屋を建設し砲臺を築造準備中で已に宏大なる地域に威嚇柵を繞らして一般住民の出入を禁止し、飛行場設置の準備をなしつつあり、目下同地には步兵、騎兵部隊が駐屯して居り、今年の春には日露衝突あるべしと流言盛に行はれてゐる

四平街の時局市民大會

【四平街支局發】四平街時局後援會主催の時局市民大會は二十五日午後六時滿鐵社員倶樂部ホールに開催され定刻前早くも聽衆は會場に押掛け議論に花を咲かせ干聲が場に溢れつ醞沼地方係長の開會の挨拶について小添市民會長を座長に推選し左の決議文を滿場一致可決、齋藤首相並に內田外相、陸海相、滿洲軍令部次長關東軍司令官等に急電を發し十有余名の愛國の士を壇上に送り、氣世界を呑むの氣勢の裡に小添座長の感謝と閉會の辭あり、座長發聲にて帝國萬歲を三唱し十時散會した

決議文

國際聯盟カ帝國ノ眞精ヲ無視シタルハ吾人ノ斷ジテ忍フ能サル處ナリ依ツテ在住邦人ハ飽クマデ此ニ對抗シ死ヲ以ツテ國難ニ殉スルノ覺悟ト決心ヲ有ス

右決議ス

昭和八年二月二十五日

四平街時局後援會

藏本書記生南京へ轉勤

新京總領事館在勤外務書記生

掛け遊興を斷られ放火して逃走

性惡な驛貨物係員 二十七日午後一時逮捕さる

福岡縣生れ八島通一ノ八新京驛貨物係高田重市（二七）は二十七日午前一時ごろ富士町料亭由泰に到り顏馴染の仲居西城戸ナミヱに銀側時計をおいてゆくから登樓させよと迫つたがこれを拒絶したため憤慨同家五號室に入り煙草の吸殼を山と積み支那ドンスを掛け放火逃走程なく仲居篠田イマが發見、疊若干を燒いて鎭火せしめた、屆出に接した新京署では酒の上のこととはいひながら余りにも亂暴なこの措致に同人を放火犯人として搜査中二十七日午後一時友人某宅で逮捕した

楊木林驛で飛降り

滿人女即死す

二十六日午前十時五十五分四平街發の三十一列車が十一時頃楊木林驛到着の際三等乘客の滿人孫開成の實母孟ガイ（六二）が列車停車前に飛降り下りホーム擁壁面間に墜落、腹部を轢れ前額部、左手裂傷を受け即死した

氣勢を擧げた大市非常時市民大會

三十萬市民の覺悟を促す

【大連二十六日發國通】認識不足の聯盟は我が正義の主張を斥け儼然たる滿洲國の獨立を認めざる報告書を『採擇』せる爲め、帝國政府は遂に聯盟脫退を決し代表の壽府引揚げを敢行し、光榮ある國際孤立に陷ると共に未曾有の重大危機に直面した、この時に際し大連三十萬　市民の覺悟と決意を內外に闡明すべき日滿市民合同の非常時市民大會は本日午後零時三十分より中央公園倶グランドに於て時局後援會主催の下に開會された、この日寒風を衝いて集る者日滿學生、生徒、各團體、市民無慮三萬餘、グランドを埋め盡す、先づ岡野市助役の開會の辭に次いで國歌合唱後小川市長を座長に推し、座長の式辭あつて後、日本人側高田商議會頭、滿人側龍商工會議會頭兩代表の『聲明』あり、別項宣言決議を可決、日滿兩國の萬歲を三唱して盛會裡に散會したが、午後二時より邦人は協和會館・滿人は青年會館で大演說會を開き氣勢を擧げた

鄭垂氏の葬儀盛大に執行さる

きのふ般若寺で

滿洲航空株式會社長故鄭垂氏追悼會は二十六日午後二時から新京西四馬路西口般若寺で執行されたが酷寒に不拘日滿各界の參列者夥しく寺庭に設けられた棚外に溢れる盛況であつた齋場正面壇上に故人の肖像を掲げ上の楣間には溥執政から賜つた「養志人冥」の扁額があり四園は花輪と挽聯で埋められた、定刻滿洲國僧侶の發引靈によりて開式執政專使佟濟煦氏が嚴かに奠醱の禮を行ひ、滿洲國僧侶の般若心經、日本側僧侶の無量壽經歎佛偈かあつて兒玉航空會社副社長の挨拶があり、兒玉航空會社副社長、關東軍司令官（岡本副參謀長代讀）與原總領事、執政府代表商衍瀛、許文政部次長、坂谷總務廳次長、協和會代表張燕卿、福建同鄉會代表林、親友代表謝介石の諸氏、得丸早大校友代表の弔吊と弔電の披露あり、遺族鄭禹氏の謝辭を受け、後順次燒香を終つて散會した、參列者に對し、鄭孝胥の亡兒を悼むの詩の印刷されたものが配られた

哀垂　癸酉正月二十日卒於新京年四十七

吾年七十四汝纔四十七老存壯乃亡大道難究悉一生近好勇才氣太橫　俗情猶未損蘊熱在內疾忽如　天禍致死止六日傷哉兒之愚捨我爲異物從亡共父子不恤天下詬老夫雖先登返顧特勁後隙乎大喪我倉卒若遇覆伏　折右肱必敗焉可沈吟廣同靈束手不能　誰能從此止牛軫甘免胄蚤過東西幽未暇攻詩書少得讀書力投閑意不愉壯健如熊　忽然失其偶婦諧兒女慧割愛情何如獨云父勿發指舌空嘻　汝當日不瞑吾當持宗祧強死能爲鬼十產說何疑父聞季札語魂氣無不之奔逐有同伴閒耗來已遲逡巡甫出門旋風起前捲塵高丈許南趨若追隨當聞我日聲失聲呼兒垂俄而塵自息憫馱卒庭悲死生分已斷欲語將告誰（上角利一君來時如此狀）不敬天降　反　當自責逆來必順受尤人亦何益事業姑置之家雖殊可感譬如風拔木龍顛恋荊孤忽垂眼血淚垂胸臆老夫

豈有君學[illegible]惜四十年日心忠孝有徵爭論相誰論定一逝過客

戊午勝之亡哭弟賦永訣於詩讖非深下痛頗雄傑今年再憶故人春太壞幽明歲同逝付子六別豈知應在汝十日復天折驚怪詩成妖不祥禍何列鬼神果來告前後如一轍苦吟不自休奈此肝肺熱（正月三日憶詩）千載

匆匆遣眼前無端生滅定誰堅幽明歲月應同逝付子相依又六年

勝卒於戊午吳夫人卒於戊辰距今適亦六年矣

癸酉正月二十七日　孝胥

建國記念日は日本側も休み

滿鐵關東廳は自由退廳

三月一日の滿洲國建國記念當日は日本側でも市內各關係會社銀行などは慶祝のため一齊に臨時休業することになつてゐるが關東廳では當日自由退廳として正式に發表され、滿鐵側でもこれに倣ひ當日は自由退廳の形式の下に唯だ顏を出すに止め休業することになるらしい

支那軍の行動

馮占海匪軍 早くも逃げ腰となる

湯玉麟も關內へ逃走準備

【新京廿七日國通】馮占海は一萬有餘の部下を擁して下窪興隆地一帶の地方に蟠居し、匪軍中の一勢力を形勢してゐるので張學良も之に多大の期待をかけ軍資及び軍需品の補給にも相當の努力を拂つてゐた、馮占海は過般張學良が宋子文、張作相を引具して、湯玉麟の下に來た時期を利用して親しく指令を受くる爲め承德に行つたその留守中偶々日滿兩國軍が疾風の勢で開魯朝陽に進出した爲め歸路が遮斷さるゝに至つた、狼狽したのは殘された部下で突然頭目を失つた上に周圍の匪軍が陸續として滿洲國に歸順するので早くも逃げ腰となつてゐるから右代の馮占海匪軍の最後も大体見越がつく譯である、又湯玉麟も最近關內へ化に退却準備を始めたと云ふことである

凌源の線に

支那軍決戰と決定

【錦州二十五日發國通】學良は凌源の線に兵力を集中し皇軍に對し一大抵抗を行ふに決した

【奉天二十六日發國通】日滿軍は行動開始以來六日にして完全に熱河の東半分を包圍し開魯、綏東、朝陽を經て進擊しつつあるので學良は支那軍が討伐軍の勢に呑まれ逃亡せるに劫を煮やし、密令を以て承德、凌源、赤峰を死守の嚴命を發し、更に萬里の長城以北の峻嶮な山嶽地帶を利用して最終防禦を命じた

學良の軍用飛行機

山海關上空偵察

住民に動搖の色あり

【山海關廿六日發國通】支那側は優秀な飛行機數臺を以て山海關、熱河方面の擾亂を企てゐるが、廿五日山海關の上空遙かに得体の知れぬ軍用飛行機が時を定めず飛來しつゝある事實に見るも、支那軍の空軍力は決して侮り難く、山海關の人民は支那軍第一線の緊張と軍用飛行機の飛來で動搖の色あり、我が軍は萬一に備へ若し支那軍にして挑戰的態度に出るに於ては如何に支那軍の根據地が接近し且つ堅固なるも出動之に對抗する樣嚴重警戒中である因みに我が飛行隊は從來偵察飛行を爲せるも決して國境を越える事なく今の處關內敵兵の實狀は察知し難く山海關の防空には並ならぬ苦心が拂はれてゐる

自發的戰線縮少と稱し

學良軍早くも後退

【北平廿七日發國通】張學良軍は熱河戰線の自發的縮少と稱して廿六日來後退を開始した、一般に凌源方面に於ける激戰期待せられ、人心極めて緊張、支那當局は新聞通信に對し、嚴密なる檢閱を開始した

雜軍灤州附近に防禦陣地

【山海關二十六日發國通】灤州附近に集つた雜軍は大莊河々口より塘古に至る海岸線に配備され、目下盛んに防禦陣地を築造してゐるがこれと相前後して白河々口には學良正規軍により砲臺二門を具へ

いよいよ山西軍出動準備を終る

【北平廿六日發國通】山西軍は平漢線、北寧線、平綏線の各列車を準備し形勢如何に依りては直ちに熱河增援に出動出來る樣既に準備を完了した

西方支那軍

昨朝來頓に緊張

【山海關廿六日發國通】山海關西方に駐屯する支那軍は二十六日朝來異常な緊張を呈しつゝあり、本朝十時江崎特務員が臨山寺に上つて西方を眺めるに支那軍の第一線、昨日に比し、兵力增大し宿營の煙も盛んに立ち上つてゐる、騎兵隊は其の間を盛んに活躍しつゝあり、近來に無い緊張振りである

有力部隊が

長城堺嶺口に輸送

【錦州二十六日發國通】丁喜春指揮の學良正規軍第百八師は十九日來北平より軍事列車にて灤州に輸送されつつあつたが二十五日より長城線の堺嶺口に向け移動されつつある

此の丁軍は兵力五千餘、砲數十門を有する部隊である、これは熱河にある反軍が敗退の場合、長城の線に據つて防禦するものとして重大視されてゐる

北寧線クロスの

鐵道枕木を取外す

【山海關廿六日發國通】昨今平津地方に於て日本の大軍將に前面方面に集結中と誇へられた灤州附近駐屯の支那軍の動靜頗に活氣を呈し來れる由であるが、今日迄の處山海關前面石河を隔つる皇軍陣地附近で支那側に於て惡戲的挑戰を試み來る外依然變りなし唯鐵道方面の消息に依れば石河右岸より秦皇島支線北寧鐵道のクロス地點まで約十五キロに亙り鐵道枕木、軌道等取外されて居る枕木其他鐵道材料は全部支那陣地の構築材料に充てられクロス地點は念入りにも麻繩を以て完全に閉鎖して居る由である

機上からの傳單

頗る効果を擧ぐ

軍は熱河討征に當り飛行機上から左の如き十數種の傳單を撒布してゐるが兼ねて日滿兩軍の來征を仰望しつゝあつた地方住民はこの傳單に依り一層協和の念を强くし敵の捕虜中にも服のポケットの裡に大事そふにこの傳單を所持してゐるものさへあり、相當の効果を擧げてゐる、尙傳單の中には文字ばかりの傳單でなくポスター化された繪入傳單もあるが其一二を記すれば左の如くである

爾們知道日本軍麼日本軍是愛好和平的神兵日本軍是保持公道的義軍日本軍的勇武世界屬第一日本軍的槍械精銳無比倫日本軍協同滿洲國軍剿匪日本軍對良民和睦決不擾害日本軍對亂賊圖命要討伐日本軍援助滿洲國進建設

熱河省人民應一致　起來打倒湯逆和亂賊

湯逆玉麟軍閥成性、背天違理執迷不悟、妄以我光華燦爛的滿洲國所屬熱河一省、作爲白鬼跳樑暗無天日之區、苛稅横徵害爾讀民、勒索硬加無惡不作、我熱省人民誓死要打倒這個賊即與奉吉黑興各省民衆同受滿洲國王道政治的幸福、由奉吉黑地方被驅逐逃入熱境的甚麼馮占海李海青蘇胡匪亂竄、還有那掛救國的假招牌公然放火打劫甚麼救勇軍救國軍、這些個無賴子們都是苦害你們熱省民衆的惡魔一個也不該要的東西、非把他快驅逐境不可、幸虧此次我滿洲國政府協同友邦軍隊來熱討伐給你們除亂黨、這是怎麼值感謝的事、湯賊和他的黨羽以及一切胡匪你們應該幫忙他、假他們合作一致打倒湯逆玉和他的黨羽以及假義勇軍假救國軍、我熱河省的父老弟兄們！快起來！起來一致做滿洲國政府利及我軍隊的後盾！

滿洲國熱河省各民團聯合會　警告熱河省人民

熱河省是滿洲國的一個省分、現在滿洲國的各省除了熱河以外都已完全肅清了、此次就是肅清熱河的機會到了、爾們知道肅清的意思麼、爾們不知給爾們說說、目下熱河省一帶援害良民的東西有五種、由奉吉黑地方跑來的匪軍是其一張學良所派的假義勇軍是其二張學良所部軍隊入熱河者其三爾四的是湯逆玉麟以及被他欺騙的熱河軍隊、第五是原有的胡匪有這麼些個東西肆行搗亂、爾們無非老百姓們得如同釜中的魚叫苦連天令人酸鼻已我滿洲國政府此次爲救爾們叫爾們同奉吉黑各省人民同受王道政治[illegible]湯逆官兵[illegible]友邦日本軍[illegible]討伐底定[illegible]在實行此次[illegible]政府的宗旨[illegible]伐軍隊路過[illegible]鎭靜以待討伐[illegible]慌恐失措以[illegible]倘若[illegible]做惡軍閥[illegible]在討伐之外[illegible]不犯、也難[illegible]這些件都是[illegible]的事、特[illegible]果及無罪。

感謝激勵電頻りに來る

滿洲國政府の熱河討伐開始に際し我軍司令官に對し各方面から感謝激勵文か來電するが之等國民の熱誠を持して尙一層[illegible]激し一層[illegible]して居る

◎支那駐屯軍　熱河作戰發表と共に光榮ある御戰勝を[illegible]

◎埼玉縣川越市　本市會は現皇軍將士の[illegible]謝意を表し[illegible]奮勵を祈る

◎第十師團[illegible]振興協會[illegible]將士各位[illegible]益々國家の[illegible]

◎山形縣荒砥[illegible]本朝來滿[illegible]

◎吳市民大會[illegible]感謝。

二月二十八日　火　乙丑　舊二月五日

◎一白の人　[illegible]

◎二黒の人　[illegible]

◎三碧の人　[illegible]

◎四緑の人　[illegible]

◎五黄の人　[illegible]

◎六白の人　[illegible]

◎七赤の人　[illegible]

◎八白の人　[illegible]

◎九紫の人　[illegible]

綿帆布界之覇王
各種綿帆布
月星牌　七輪牌　獅子牌

營業科目
船舶用天幕、日覆、雨覆用、製紙乾燥用、車輛屋根張用、各種運動具用、各種靴・鞄用、各種防水布各種ゴム引布、各種染色帆布、工業用濾過布、各種帆布加工品

SO
大阪市西區本田町通三丁目
於勢佐兵衛商店
電話西 二九二〇番・西四四六〇番・三六四番
發信略語（オ）又ハ（オセ）（OSE）
電報掛號 日文オサカニシ・メンハンプ　歐文"TOILEVOILE OSAKA"

特許 松井式
ベヤリング
高級
車軸傳導裝置一式
東洋唯一專門工場
（型錄無料送呈）
大阪市西淀川區佃町（神崎大橋西詰）
K.T.
松井鐵工株式會社

新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一個月 金八十錢 郵稅 一個月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話二三〇〇番・三二五番
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷啓二郎

山海關の日本軍 絕對的に徹兵しない
無智な支那人に知悉せしむ爲 處置方を考慮中

〔山海關廿七日發國通〕最近天津方面に於て日本當局の意向なりとして、日本軍は長城以南に戰爭を波及せしめない、若し支那側が必要の保障を爲せば、山海關の駐屯軍をも徹退してもよい、との事が傳へられてゐる由で內外人間に種々の疑惑を與へ、殊に山海關居住の支那人間に面白からぬ空氣を醸成するおそれあり、日滿當局は勿論支那で事を醸したくはないが、山海關は元來長城と連接せる城壁に取圍まれでゐるもので當然滿洲國に屬し、又守備隊の駐屯は明治三十三年の北清事變議定書に依る義務にして何の遠慮も要らない、而も國を爲さぬ支那と統制なき支那軍隊とが、日本の保障要求なくして安全を保ち難しとは當地全民衆の心からなる願望なるに依り、在山海關、日滿最高方面では右民衆の熱望より觀て、山海關は滿洲國の領地なり、日本軍斷じて撤退せずとの主旨を一般支那住民に知悉せしめるべく、何等かの處置に出づることゝなつた

十九路軍の三百 出動準備を完了す

〔錦州二十七日發國通〕鐵血軍と自稱し、上海事變で日本軍に頑強抵抗を試みた十九路軍の三百名は駐操營に僞勇軍の第六旅は小河口にあつて出動準備中、又長城を越へて侵入した敵の第一〇八師は目下凌源に向け前進中なり

承德、凌源の城民 支那軍の降服を懇請
暴虐な支那兵引揚料を要求

〔錦州廿七日發國通〕日本軍熱河大討伐の報一度傳はるや承德は大混亂に陷り、早くも湯玉麟の一族は北平に逃亡した 市民中の富裕階級も續々避難準備中で、市民等は一刻も早く滿洲國王道の光に欲せんことを冀ひ目下湯玉麟の降服方を懇請してゐる、凌源市民も亦極度の混亂狀態に陷り駐屯部隊の降服亦は、凌源退出を要求してゐるが、暴虐な支那兵は退出料として百萬元を要求してゐる

討熱作戰軍陣容 救國軍も前進準備

滿洲國討熱作戰軍の陣容は大体に於て南北二集團に分かれ北部集團は三個の軍と一獨立旅から成つて居る、固より其內容は嚴秘に附せられて居るが、最北方に位置するのは最近學良政權を見限つて歸順した劉桂堂の率ゐる護國游擊軍で、兵力一萬六千を擁して魯北方面より行動中で、其の南方には張海鵬將軍の直接率ゐる洮遼軍〇萬〇千及程國瑞中將の建國第二軍が〇〇方面及〇〇方面より行動して居る、また一獨立旅は李壽山將軍の率ゐるもので其駐屯地たる安東より〇〇方面に移動しつゝある、以上諸軍中洮遼軍と建國第二軍とは前敵總司令官張海鵬將軍が統一指揮し劉桂堂の護國軍と李壽山部隊も張海鵬の區處下に置かれて居る、これ等北部兵團は去る二十三日風雪を冒して兵力未集結に拘らず斷然攻勢に移つたことは既報の通りだが南部兵團たる丁強の率ゐる救國游擊軍も既に〇〇方面省境に近く集結を終り前進を準備して居る

一彈また一彈
上空から巨彈を見舞ふ
—八木飛行中尉語る—

〔錦州廿七日發國通〕我空軍〇〇機〇〇臺は朝陽より退却して凌源に集中せんとする敵の大部隊に對し爆擊を敢行したが、この爆擊に殊勳を立てた八木飛行中尉は語る 午前十一時偵察機の報告によれば三千の敵が太平房附近を退却中なることが判つたので先頭の森田中尉機の後を追つて直ちに爆擊に出動した、機上より見れば白雪の道を踏んで敵は隊伍を整へ太平房西方へ退却中だつた、逃してなるものかと一彈見舞つた我ながら見事に命中し、敵は大損害を受けて木の葉を散らすが如く潰走した、午後二時頃には坦々たる大道路を自動車、馬車各二臺を先頭に乘馬、徒步の約五百の敵を發見し頭上より巨彈を見舞ひ將校らしい者がドッと馬から顚倒するのがよく見えて痛快至極だつた、此日敵の損害は少くとも一千と思はれる

朝陽方面の敵匪軍 凌源方面に潰走
我飛行機に膽を奪はれ

〔錦州二十七日發國通〕兩三日來朝陽方面の戰鬪に於ける我飛行隊の素ばらしき活躍は敵匪の膽を奪ひ、敵の鬪志を失はしめたものの如く、その方面に於ける敵は今や全く逃腰で凌源方面に向けて潰走を續けつゝある

南北に轉戰數十回
矢崎參謀語る

〔大李家屯廿六日發國通〕紗帽山要路に據り小しやくにも我部隊に向け大小砲を連發して頑強抵抗を試みつゝある學良正規軍孫德全の響く砲聲を聞きつゝ矢崎參謀は語る 我服部部隊は南は匪賊の巢窟討伐から北はコロンバイルの蘇炳文討伐に至る迄、全滿各地に轉戰、數十回なるを知らないが、未だ一度全力を盡して戰ふ樣な大敵に出遭つてゐないので、一同髀肉を嘆じて居つたところ前面の敵は學良直系軍の中でも強いと言はれた孫軍であるゝ、今度こそは本當に戰爭らしい戰か出來るだらう、討伐部隊中最後に行動を起して最先に正規軍とぶつかつた事は愉快だ大いに戰ふぞと長劍を撫して決意の面を輝かした

谷枝隊 〇〇に向ふ

〔大李家屯二十七日發國通〕〇〇部隊の麾下谷枝隊は二十六日午前八時服部々隊と行動を共にし、服部主力の右翼隊に沿ひて鄭桂林軍を掃蕩しつゝ〇〇に向つた

白石嘴邊門の敵を 今朝改めて猛襲

〔綏中廿七日發國通〕白石嘴邊門の西方に於て頑強に抵抗を續けた敵は我が米山先遣支隊の猛襲に堪へかね二十六日夕刻に至り西北方に潰走したが但し米山支隊は暗夜の事とて一先づ銃鋒を收め、二十七日拂曉を期し再度石白嘴邊門に向け攻擊の火蓋を切ることゝなつた

下窪を放棄
赤峰方面に退却中

〔開魯廿七日發國通〕昨二十六日正午頃我〇〇機の偵察調査に依れば、敵は我軍の急追に恐れをなして既に退却し、下窪を放棄して赤峰方面に退却中

極東武器禁輸案 何等の痛痒を感ぜず

去る二十一日のイギリス下院に於て勞働黨のランズベリー並に自由黨議員チーザン兩氏の質問に答へて外相サイモン氏は對日武器禁輸問題について他國政府（恐らくは米國）と目下意見の交換中であると言明し、米國は過般上院に於て日支兩國に武器供給を禁ずる法案を上程し、更に下院に於てこれを日本に對してのみ禁止することに修正したといふ外電があつた、之と同時に英米兩國の一部新聞紙も日支兩國へ武器の供給を禁止すべしと論じて居るものがあるが歐米各國が極東に對し武器禁輸を約束しやうと言ふのは正に自繩自縛の形であつて恐らくは實現すまいと思はれる、何故ならば昨年歐米列國が支那に賣込んだ武器は恐らく合計一億圓以上に上つてゐると思はれ、その一例を擧げて見ると次の如くである

△英國 廣東政府へ偵察機十三臺、その額二千七百萬磅を賣つた
△米國 廣東政府へ山砲八門、迫擊砲二十二門、水雷五百個、高射砲數門 學良に對し飛行機三十臺、高射砲三十門を朱慶瀾に高射機關銃二十挺
△伊太利 南京政府へ飛行機四十臺
△獨逸 學良に對し銃砲彈藥の大量供給を契約し手附金として一千五百萬元を受取つて居り、南京政府に對しても揚子江砲臺用の平射砲その他を賣込んでゐる

その他佛蘭、墺國等からも盛んに賣込を行つて居り、年々莫大なる金額に達してゐるのであるから今更ら禁輸案なんかを約束することは各國とも自國の兵器製造業者に打擊を與へることになる譯だが假にこれが實現すれば支那の戰意を抑へることにもならうから結構な話である。又それが單に日本に對してのみのものであるとしても、日本は歐米各國からは新兵器の見本を買つてゐた程度に過ぎないから何等實害を蒙らない、孰れにしてもかうした案は小兒病的聯盟宗の感情の所產に過ぎない

學良の後方攪亂に 滿洲國の備へ
各省警備司令官に對し 軍政部の警備命令

滿洲國の討熱作戰軍は逐次熱河省內に侵入しつゝあるが、一方國內に對しては張學良の後方攪亂企圖あるべきを察して、軍政部は各省警備司令官に對し省內に至嚴の警備を行ふべく命令した、即ち奉天軍は反滿抗日兵匪の東方への脫逸を防止せしめ、尙奉天軍に對しては右の外海邊の警戒を嚴にし吉林軍に對して北國境

鄭桂林軍と 激戰三時間之を潰滅

〔大李家屯廿六日發國通〕〇〇部隊は二十六日午前八時半服部部隊と行動を共にし、服部々隊主力右翼線に頑強に抵抗し來れる、鄭桂林軍と猛烈なる遭遇戰を開始し激戰三時間にして敵に多大の損害を與へ之れを四方に潰走せしめた目下我軍は之を追擊中

鈴木部隊
冷靜な待機の姿

〔朝陽二十六日發國通〕朝陽に入城せる鈴木部隊は直ちに市內の警備につくと共に敵匪の動靜を凝視しつゝ極めて冷靜なる待機の姿を取つてゐる

石河の支那軍 砲機關銃を試射

〔山海關二十七日發國通〕石河右岸に集結敵對行爲を續けてゐる、支那軍は日滿軍への威嚇の爲め盛んに砲機關銃の試射を爲しつゝあるが、二十六日午後二時より五時頃までに五十餘の試射をなし士氣を鼓舞してゐる

孫德全とは何者？
學良軍中の精銳

〔大李家屯廿七日發國通〕我服部部隊の正面に堅陣を布き大砲、迫擊砲を亂射して抵抗して居る學良直系の孫德全軍とは何者であるか？ 孫軍は學良軍中でも、精銳を誇る四千の完備した正規軍で昨年秋から灤河の線に出動し本年正月日本軍が山海關を攻略するや、界嶺口から長城を越えて熱河に潛入したもので殆ど乾溝領から凌源に駐屯し一度は朝陽まで突進して蕭嶺亭旅や、僞勇軍の尻を押し、北票線一帶を擾亂せしめ、日滿兩軍と今日まで相對し學良の命により一月下旬頃綏中凌源街上の北章營子に移り、附近の匪賊僞勇軍を使嗾し、省境長柵に近い紗帽山の險路に陣を進め、一帶の住民を強制徵發して狹滬溝山上に半永久的堅固な陣地を築造し、反滿氣勢を擧げて居つた不逞の輩である

學良の砲兵團 第一線に配置さる

〔山海關廿七日發國通〕昌黎秦皇島方面で又も支那軍部隊到着せりとの噂あるが右は最近丁喜春の第百八師及び砲兵一個團が數十の駱駝隊を引具して灤州附近に移駐して來たのが誇大に傳ぜられたものである 尙ほ右砲兵團は支那軍第一線に配置された

支那軍軍馬を徵發
九門口附近で

〔錦州廿七日發國通〕長城方面に於ける學良軍は熱河に侵入せんと移動し熱境に續々集結されつゝあり、之が爲九門口、石門寨一帶で車馬の徵發が盛んに行はれてゐる

威嚇の銃砲聲を放つ

〔山海關廿七日發國通〕支那軍の第一線には、平津地方から宣傳隊や慰問團が盛んに入込み軍隊を煽動しつゝあり支那軍は時を擇ばず銃砲を放つて威嚇しつゝあり、この爲第一線には銃砲聲の絕間がない

敵の遺棄 死体多數

〔錦州二十六日發國通〕二十四日の虻牛營子の戰爭で敵が遺棄した死傷者は相當多數に達したが、夜陰に乘じて殘匪が收容した模樣で戰場は白雪を點々として赤く染め凄愴な光景であつた

支那軍飛行機の出現を 腕を撫して待つ我飛行隊

〔錦州廿六日發國通〕我が〇〇機が齎らした情報に依れば張學良の幕下に待機中の飛行機數は北平南苑飛行場に戰鬪機五、偵察機一、練習戰鬪機三、郊外清華鎭に學良練習機二、米國製戰鬪機四、佛國製戰鬪機二、乘用機一、偵察機一、永平飛行場に戰鬪機、偵察機とりまぜ十二機あれ、何れも出動準備中であると、右情報に接した我飛行〇〇隊では敵飛行機が戰場に現はれるやも圖り難しと相當緊張の色を見せ出で來らば一機殘らず擊落して呉れんと腕を撫して其の時を待つてゐる

學良記者に豪語

〔北平廿七日發國通〕張學良は記者に對し「熱河省の戰鬪切迫せるを以つて自ら督戰の爲め近く赤峰又は凌源に赴かん」と豪語してゐる、因に承德には米國活動寫眞班及び特派員に混り米國武官が觀戰と稱して參加してゐる

茂木部隊
蒙古沙漠の難行軍

〔四營二十七日發國通〕一路〇〇へ向ひ內蒙古の沙漠地帶を突破の壯途にある茂木部隊は開魯出發以來言語に絕する難行軍を續けてゐるが、酷寒の沙漠に寒風を衝いて前進する將士、晝は敵匪の乘馬部隊を急追し、夜は天幕に安からぬ夢を結んでゐるが、幸にも寒風に白雲は氷結して砂塵の[illegible]がら將兵は雪を噛んで寒氣を歴し行軍を續けてゐる、若しこれが溫度上り雪が解けて居れば非常な危險にあつたかも知れない

新編第一旅
凌源、冷口間に陣地

〔山海關二十六日發國通〕熱河に侵入した沈克の指揮する新編第一旅は凌源、冷口の間に到着し東方に向つて陣地を構築中であると傳へらる

新河塘沽間に 鐵道敷設

〔天津廿七日發國通〕支那側は義和團議定書に違反して太沽砲臺の武裝並に白河流域に半永久的堅固な陣地を構築し成ひは白河を封鎖して通商貿易を杜絕破壞せしむる虞れある同港封鎖計畫工事をなし居るに鑑み、俄然列國の大問題となり、我天津總領事館より嚴重なる抗議文を提出したが今日迄何等の正式回答に接せぬのみかあくまでこれを否認して居つたが、同地責任者河北省主席第一軍長于學忠は昨二十六日午前零時、十數臺の自動車を連ね白河河口の防禦設備を視察督勵をなすると共に我駐屯軍に探知せらるる事を怖れ先般來ひそかに軍隊輸送の爲新河塘沽間に鐵道を敷設中であつたが、愈々三月七日頃竣工を見るので、これが下調査に赴きたる事實ありこの大膽なる侵犯行動に對し我當局は更に回答ある迄斷乎抗議を續ける筈でこれが成り行は頗る重大視されてゐる

熱河省民の 湯玉麟に對する 怨嗟

〔錦州二十六日發國通〕苛斂誅求を續けること多年熱河省民の骨の髓までしやぶり盡した湯玉麟に對する怨嗟の聲は今や全熱河の山野に滿ち、最近質朴な熱河民衆の間にこんな民謠が非常な勢で流行してゐる

早去一天 天睜眼
晚去一天 地無皮

服部々隊
早曉三時前進

〔大李家屯二十七日發國通〕敵前間近かに迫りながら夜に入つた爲め止むなく前進を停止し、夜營に入つた服部々隊の主力は十六日夜來敵陣地より打出す殷々たる砲聲を聞きつゝ胸を轟かせてゐたか午前三時全軍勇躍〇〇に向け行動を開始し

滿洲國經濟の 重要問題可決
昨日の國務院會議

第八次國務院會議は二十七日午後二時より國務院會議室において開催左の議案を審議しいづれも可決した

一、財政審議委員會官制案
（國務總理の監理に屬する委員會にして財政計畫、租稅制度、會計制度、その他財政金融に關する重要事項を審議するもので、會長は國務總理これに當り、委員には財政部總長および次長、總務廳長、法制局長これに當り組織されるものである）

二、滿洲國經濟問題に關する件
（右は滿洲國今後の經濟政策に關する極めて重要なるもの）

三、人事任命案
民政部事務官 黃富俊
僞民政部理事官兼地方司長
民政部事務官 張明
僞民政部衞生司長

四、總謀徽章圖案の件
（軍政部總謀に新たに總謀章を制定する）

五、建國功勞章の件
（滿洲國建國に功勞ある者に功勞章を授與する）

人事往來

▲石本憲氏（…）任挨拶のため二十六日…發奉天を經て…
▲河本滿鐵理事 二十七日午後七時半、奉天より來京ヤマトホテル

沒收逆産を以て貧民の救濟に充つ

あすの建國記念日に際して 學良の廿萬圓を支出

滿洲國政府は來る三月一日の建國紀念日を期し奉天、吉林、黑龍江の三省及ハルピン特別區市に對し張學良逆産より合計二十萬圓の金額を支出し貧民救濟の資金に充てる計畫を進めつつある由

高女生の祝建國周年

日本歷史の一頁を飾る滿洲建國の一週年記念の祝日をあすに控えて新京高等女學校ではこれを永遠に記念する爲二十五日生徒一同へ滿洲國誕生にちなんだ詩、和歌を綴らしてその內の優秀品二、三を揚げて見ると

詩　小澤文子作

輝やく新國家

(一)西天曇りて風吹ける嵐にありし滿蒙に東天出る日の光あまねく照し今はこて輝き滿つる新國家

(二)嵐のあとも消えはてて草木育む滿蒙は歡呼の聲もにぎはしく彌生光くまなくて輝きみつる新國家

(三)ある三千萬の民衆よ若き元首をいただきて共に榮えん滿蒙に希望の光滿ちくて輝きみつる新國家

和歌

もののふの血ぬりし土に若草のはじめて生ふる春を迎えつ　笠井ゆう子作

はるからの國の榮を聲高く今日ぞ唄はん三月一日　林きく作

建國の一週年を壽ぐと曠野清めて白雪の降る　鴨田美代子作

あすの大會情景を全世界へ中繼 映畫撮影班も大活躍

建國周年記念大會明日に迫る!

三千萬民衆が待望の三月一日滿洲國建國周年慶祝大會もいよいよ明日に迫つたが、同大會は當日午前正九時、民政部前廣場において開會、正式に決定を見た式次は次の通りである

一、官民入場
二、軍樂隊「國歌」吹奏
三、國旗掲揚、三敬禮
四、金市長開會の辭
五、執政府代表、執政敎書の敬讀(通譯付)
六、鄭國務總理訓示(白井秘書官通譯)
七、丁大會幹事長祝辭(通譯付)
八、武藤大使祝辭(翻譯付)
九、萬歲三唱
十、閉會の辭

以上を以て式は滑りなく終了することになつてゐるが、これらの全景況は日本および近隣諸外國に中繼放送されるとともに映畫撮影班四班によつて全部撮影されることになつてゐる

交驩はれることになつてゐるが、このほか執政には府內において特に設備されるマイクロホオンを通じて最初のラヂオ放送がなされるのである。

獨逸の現狀 聖上、小幡大使に御下問

【東京廿七日發國通】天皇陛下には二十七日午後二時より宮中御學問所に於て賜暇歸朝した前駐獨大使小幡酉吉氏を召され、獨逸の現狀に就いて約一時間に亘り奏上を聽召された

日滿合作の大慶祝行進曲 參加者凡そ二萬人 堂々市內を練步く

新興滿洲國の民衆運動として未曾有の盛大なる旗行列が民政部前に於ける當日の式典を終つて日滿合作により行はれる、これが參加人員は滿洲國政府官吏約千名、各法團員約五千名、各公私立學校生徒兒童約五千名、滿洲國軍人約三百名、それに一般民衆も參加するもの凡そ一萬と豫想され軍樂隊を先頭に、滿洲國歌および新京市歌を高唱しながら五色旗を打ち振りつつ大慶祝行進がいとも盛大に行はれる筈だが二十七日、更に日本側佛敎團體約五百名が一擧に參加を申込んで來た

各官廳は二日も休業

一日の建國慶祝大會につづく翌二日よりは丁度孔廟に相當するので大成殿において祭祀が執行され、午前三時早くも鄭總理を主祭官として盛大なる儀式が行はれる、從つて滿洲國各官廳では當日も引續き休業することになつた

執政府の式典

當日執政府では府內および沿道一帶に亘つて目ばゆきばかりに電飾を施し盛大なる式典が行はれることになつてゐる即ち第一次は午前十時一十分より政府官吏集合のうへ溥儀執政の前において祝杯をあげ三敬禮ののち、訓示を賜はり萬歲を三唱して解散、第二次は午前十一時三十分より府內動○樣において行はれ、特に武藤全權大使も出席、慶祝の

ハイラルの建國祭 日、滿、蒙三民族相揃つての慶祝

【ハイラル廿七日發國通】王道國家滿洲國建設せられて一ケ年、三月一日の建國祭を慶祝すべく、當日は日滿蒙三民族打揃ひ建國精神の鼓舞、國民的自覺の喚起、建設事業の促進日滿共存共榮精神の增進を期して大々的に慶祝會が行はれるが、此の佳き日を永久に記念すべく、別項の如くハイラル回敎日語學校が成立する外、三月二日を期し蘇炳文事件の際奪ひ犧牲となりたる日滿蒙人の供養會を行ふ事になつた、コロンバイル各旗各喇嘛廟より參集する喇嘛僧のみにても其數約一千名に達すべく非常な盛觀を呈するものと期待さる

松花江アムール河との合流點に露國が捧杭の堰

【ハルピン廿七日發國通】解氷期の近づくと共に松花江アムール河の航行問題が露滿兩國間に自然に起つて來るので滿洲國當局では準備調査中だが、最近松花江とアムール河との合流點にロシア側が捧杭を以て堰を作り、河流の關係で自然に松花江から黑河へ通ずる河床を淺くし、航行を不可能ならしめんとすることが判明したので、當地外交部代表は昨日ソウイエフト總領事を訪問して、之が撤廢方につき抗議を提出、中央政府へ傳達方を申込んだ

元藝妓のダンサー出願 無斷外泊が發覺おジヤン

北海道生れ新京ダンスホールキャピタルダンサー山本吉美(二三)はかつて奉天十間房第四區某料亭に藝妓として働きその間無斷宿泊したこともありこれを秘めてダンサーの許可願提出中の處新京署に發覺ダンサー稼業罷りならぬと保安係から達しに接した

傳染病棟 七八頃竣成

滿洲第一の傳染病發生地として統計、表に表はれてゐる新京の現在の傳染病棟では既に狹隘を感じ發生期に入れば全患者の收容困難で當局では既に增築の計劃が進められてゐるが遲くとも七八月頃迄には是非竣成させ度い意嚮で既に具體案の成立を見た模樣であるなほ現在の入院患者は季節的の關係で非常に減少し猩紅熱一一、赤痢一、其他一三計二十五名である

農民共產黨の首魁等捕はる 總領事館警察署に

磐石縣を中心に朝鮮農民を糾合し朝鮮農民共產黨を組織し善良な『農民』をせん動し加盟せざる者は殺害するなど實に惡辣極まる行動を續けてゐた首魁朴允瑞、吳海秋の部下百余名は滿洲事變突發以來皇軍の討伐を恐れ各方面に姿を晦し、多くは避難鮮人と共に新京その他沿線各地に居住してゐる、最近同部下慶尙北道善山郡齊山面東○洞新京西三道街鍍胡一六金東浩(二六)慶尙南道晉州郡晉山面以下不詳住所新京西三道街鍍胡舊金成一(二三)同慶尙南道密陽郡河西面以下不詳新京永樂町三丁目二十七番地金成用(一八)京畿道水原郡以下不詳新京城內六合屯九號許萬榮(二〇)外十數名は別動隊として昨年四月以來伊通縣三道溝燒鍋朝鮮人部落に入り同部落閔漢禎外二家族二十余名に加盟運動をなしたが、閔が『加盟』を反對するや黨員は右二十余名を縛上げ棍棒で撲殺したる事實を新京總領事館警察署員が探知し、極密に搜査中の處二十六日前記四名外十數名を檢擧し嚴重取調を續けてゐるが共犯者多數にのぼるものとみられてゐる

新京大連線 旅客頓に激增

最近新京大連間の旅客が著しい激增を來し新京午後十時發大連行終列車は連日滿員鮨詰の狀態であるが現在は客車十五輛と最大限度の聯結をしてゐる爲最早この上の增結は不可能であるが今後解氷期に入れば內鮮方面の觀察旅行者の來滿をみる樣になれば更に旅客は增加する一方でより以上の混雜をかもすものと豫想されて當局では如何にしてこれの緩和策を講ずるか頭痛鉢卷の態であるなほ大連發午後十時新京行列車も最近は乘客の激增によつて十一輛を連結してゐるがこれは多少の餘力があるので十五輛迄は增結出來るものと見られてゐる

滿洲國建國頌歌 義江氏の作曲で世間に出る レコードにも吹込む手筈 建國記念當選歌

建國周年中央委員會の募集した作品中一等に當選した日本文「滿洲國建國頌歌」に就て、目下『奉天』に於て「亞細亞は叫ぶ」のトーキー撮影中の藤原義江氏が右の歌詞を讀んで頗る共鳴し、是非自分か適當の機會に作曲發表したいとのことに關東軍小林參謀の肝入りで二十六日塚本マネージャーを新京に遣はし、川崎宣化司長および作者小林古溪先生氏と會見せしめた結果、政府側も藤原氏に兄て一任する事となり作曲、發表、レコード吹込の一切を同氏に一任した、よつて藤原氏は多忙なる『撮影』の時間を割きこれか完成に努むる筈であるか、或は撮影終了後新京に於て行はれる「亞細亞は叫ぶの夕」に於て發表さるる事になるかも知れぬとのことである

語學々藝會 盛會裡に終る

室町校、西廣場校、普通學校公學校の四校兒童の聯合語學學藝會は既報の通り二十七日午後一時から室町校講堂で開催今日の意義あることの催を見んものと押寄せて來た四校生徒は定刻前早くも堂に溢れ時刻遲しと待ちかまへてゐる、やがて定刻となるや大谷、劉兩先生の開會の挨拶に次ぎ普通學校補習科一年生李元模君のアメヨコの天使といふ話劇によつて學藝の幕は切り落され小さい口から漏れ出る日語滿洲語は笑いと拍手の內に日頃練習の効を遺憾なく表し午後二時すぎ盛會裡に終了した、なほ當日のプログラムは次の通りである

滿製ジャンダーク 芳子さん大活躍 但し軍政部とは關係はなく 募兵は許されぬ

最近定國軍と稱して諸所で募兵するものがあり、右に就き各方面で疑惑を生じて居るが滿洲國軍政部では全然之れに關與して居らぬ、元來定國軍といふのは熱河省の民衆の手に依り組織せられたものである、即ち多年湯玉麟の暴政に泣いた省內の自衞團や民團が昨年來、湯政權打倒を計畫して居つたが、日滿軍の熱河經略を傳へ聞いて、自力で合縱連衡を策し、其代表李錫九が執政の近親で蒙古王族カンジュルジャブの夫人たる金璧輝(川島芳子)を總指揮に擁ぎ上げたのだ、日滿のため捨身の覺悟あり弱者に對し同情深き芳子夫人はすつかり滿製ジャンダーク氣取りで活動してゐるが滿洲國要人間には之に關して兎角の言を爲す者もある、然し民衆自らの力と金とでやることであり滿洲國軍に協力しやうといふのであるから滿洲國軍政當局は之に干涉して居ない、只滿洲各地で定國軍の名に於て募兵し新軍を作る如きことは絕對に許して居らず、民衆が之れに惑ふことなく且官憲が之を取締ることを希望して居る

在鄉軍人達が殺到して面喰ふ 滿洲國軍官候補一時募集を見合せ

昨年來、日本在鄉軍人を滿洲國軍官候補生として採用することとしたが、熱河問題紛糾以來志願者激增の有樣で、國際聯盟脫退等日本の決意いよいよ牢乎たる一方、國際間の雲行漸く穩やかならぬので、軍國在鄉軍人の意氣益々高く滿洲國軍政部の主任者の机上には此等志願者の願書や履歷書が每日堆く積まるる樣になつた、昨年度は約百名を採用したのだが、斯くも多數應募すべしとも思はなかつた滿洲國軍政部では友邦青年の意氣に感激しつつも一面聊か面喰ひ、改めて根本問題から考へ直さねばならぬと爲し今後一時其の募集を中止した

全國婦人の報國祭 靖國神社前に擧行

【東京二十七日發國通】非常時日本の現狀を反映して、婦人報國の誠を披瀝しやうと、愛國婦人會では三月六日の地久節に全日本婦人の總動員を行ふこととなつた、當日東京では婦人報國祭を九段の靖國神社前に於て擧行天皇皇后皇太后三陛下に報國祭趣意書を捧呈し、宮城前で萬歲を三唱し、明治神宮に參拜する豫定で部下の各婦人團體殊に女學校生徒多數が之に參加し、旗行列を行ひ全國各地の同支部でも氣勢を擧げる爲め式典を行ひ、神社參拜及び講演會を催す筈である

旅券査證 護照規則 近く部令で發布

日支通商條約に基いて法制局及び外交部、民政部に於いて審議中であつた外國旅券及外國人旅券査證及び護照規則は此の程漸く法制局の手を離れ各部に移つたので、各地の施行機構の整備を待つて近日中に各部令を以て公布を見る事となつた、尙これと同時に外國人入國取締規則も民政部令を以て同樣發布を見る筈である

四平街の大時計止る

【四平街支局發】オール四平街市民の標準時として道行く人々を仰がして居る大四平街の立派である停車場の大時計が何ふした事か二十六日午前八時五十八分を指したままパッタリ動かなく成つたノンオチツチ淚泌み時計台を眺めその有難さを感ずる大小十余個時計連何時まで眠るかここもストライキのかたちデモの効果一〇〇パーセント直に獻撫に臨付た事業部員の御迎中話は甘し解決したのか午後四時十二分我々の愛すべき時計連一齊に活動し始めた七時間余で解決したものの今後は何卒此々からぬ樣に

戰傷兵 無念さうに歸る

【大連廿七日發國通】山海關其他北滿各地の討匪戰で、名譽の負傷をなし、各地衞戍病院で療養中であつた丁兵中尉五十嵐正義氏以下七十勇士は白衣の痛々しい姿を戰友に援けられ、本日午後四時出帆の照國丸で原隊に向け凱旋の途に就いた、埠頭には小川市長始め市民各團體多數の見送りあり、勇士等は熱河討伐にも參加出來ず、內地に歸還せねばならぬ苦衷を御推察下さい、一日も早く全快渡滿しますと如何にも無念そうであつた

狩野氏赴任

【四平街支局發】四平街警察署保安係狩野氏は今回巡査部長に進級大連警察署に榮轉の命に二十五日市內各重なる向きを歷訪告別の挨拶あり二十七日午前十時五十一分發南行列車にて日滿官民多數の見送裡に赴任した

バス乘客に謝恩的大贈彩

滿電ではバスの乘客に對し謝恩的意味に於て市內乘用回數券(金票一圓)購買者全部に景品を進呈することとなつた

頭彩　金廿圓一本(商品券)
二彩　金十圓一本(同)
三彩　金九圓一本(同)
四彩　金三圓一本(同)
五彩　金一圓十二本(同)
抽籤發表は四月一日

政治工作に 滿洲國婦女子隊も乘り込む

【錦州廿七日發國通】我軍の熱河討伐と共に、滿洲國では多數の政治工作員を派遣し熱河省民の宣撫に當ることとなり昨日午後〇〇の出動に從ひ四十名餘の宣撫員が出發したが、其の中には十三四から三十前後の婦女子十四五名が參加してゐるが、彼女等は蒙昧の省民が張學良の宣傳に迷はされ居るを救ひ出さんとの念願から從軍を願ひ出たものでこれ等婦女の出發は誠にいぢらしきものがあつた

東邊道の攪亂 學良尙は斷念せず

【奉天廿七日發國通】熱河の戰雲漸く熾烈化すると共に、張學良はその魔手を延して東邊道一帶の後方攪亂を企圖し既に便衣隊をして東邊道各地に潛入せしめつつあるが、奉天省警備司令部では萬一に處する爲め、これが對策を考究中である

▲精養軒の女子大好きなボーイさんとイチャイチャ喧嘩をしつたもんだと火花を散らしてゐましたので最近とても憂鬱になつてゐました▲それにしびれを切らしたか女子はとうとう取持方を其の道の達人であるエーさんの所に持ち込んでいつたんです▲根が親切なエーさんオイそれと得意の舌をきように運動させその甲斐あつてボーさんと女子の手は又もとの通り固く固く握られました、目度出し目度し▲奏東で左褄を取つてゐた菊龍さん二三日前から突然あの長い姿を三笠カフエーのホールに表はしました、誰れが彼女をさうさせたかここの雪子先夜世間かうるさいと悲觀してゐました何故でせうそれは思ふ樣に活躍出來ないからでせうそれでいいの

天氣と氣象

二十八日の天氣、北西の風曇後晴、二十七日の氣溫最高零下九度一、最低零下二十二度

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替　倫敦銀塊　同遠限　紐育銀塊　孟買銀塊　木英爲替　日爲替　米支爲替　スチール株　アナゴンダ株

▲綿花　▲米

各地市場

▲上海標金　▲上海日本向　▲上海倫敦向　▲上海紐育向　▲大連鈔票　▲大連上海向　▲大連煙台向　▲阪神日米爲替　▲阪神日英爲替　▲大坂株式　▲大連株式　▲大阪三品　▲大阪棉花　▲大阪期米　▲仁川期米　▲橫濱生糸　▲神戶豆粕　▲大連特產　▲哈爾賓特產　▲カルカツタ麻袋　▲大連麻袋

新京市況

[illegible]

婦人と家庭

笑つてすませることではない

教へたことは覺えずに 教へぬことを覺えてゐる
學科はダメでも映畫にかけたら天つ晴れ天才！

さき頃文部省が東京市內各區にわたつて、小學兒童がどの程度まで映畫館に出入してゐるかといふ調査を行つて結果を見ると、男の子で五割三分女の子で四割四分となつてゐます。またかつて東京府下のある中學での調べでは

映畫 の題をあげさせて見たところ、學科の方はまるで出來ないやうな生徒でも十分間に廿五から三十以上までを全部の生徒が知つてゐましたなほ、歷史などでどんなに力を入れて數へても、それは忘れられがちで、しかしダグラス、フエアバンクスといつたらそれを知らない生徒はただの一人もなかつたといふ有樣ですこのやうに數へられたことは覺えられないで數へられないことが非常な熱心さで子供の心をうばつてゐるといふことはやはり現在の

教育 の半面を如實に物語つてゐるものといはねばならないでせう。かく數に於ても質に於ても、非常な力をもつてゐる今日のこの映畫です、しかしこれを家庭教育といふ立場から見る時には非常な注意をしなくてはならない重大な問題です。なぜなら、今日の映畫といふものが決して本來の使命のためにはつくられてないのですから、それは顧客が要求し喜ぶといふことだけを考慮した一種の商品でしかないのですから。それにはよいものもあつても大部分が人情の弱點に投じた教育上から見て

危險 なるものばかりです。例へば最近一年間に於ける映畫の題の中から一、二をあげて見ると、『戀愛案內』『君と一と夜』『センチメンタル、キス』『惑んだ結婚』『陽氣のせいだよ』『今晩愛して頂戴な』このやうな題だけでも、青年の卑俗な興味をそそるものが多いのです。しかしかうしたことはただ我國のみではなく、英國などでも、殊に女教員組合に於て俗惡なフイルムから如何に子女を保護すべきかで大きな研究題目とされ、ハンブルグの青年局に於ても、各家庭へ向けて警告してゐる現在です、我國の一般家庭でも、教育方面でもかうした

熱心 な輿論はまだ少いのです。しかし輿論の如何にかかはらず、實際問題として我々は今日の映畫の對策を考へねばならないのです。例へば學校その他の優良な映畫會にはつとめて子供をやるやうに、又常設館にしてもよいものを選び兩親のうちどちらかがついてこれを子供の程度によはせて說明し批評するといふ用意がなくてはならないと思ふのですそのやうにして、幼いうちから

趣味 の向上、又この方面に對する日識を養ふといふことが大切です。効果のない禁止をするよりは、これを辨別する趣向な見識をやしなひたいものです。（文部省社會教育局中田俊造氏）

滿鐵青同の歌

1、世界の憎惡の坩堝によしあるとても 識の團結もて 守れ東亞をば いざ友よ同志よ ガツチリ腕を組め!!

2、富の專制打破り 我等が祖國をば 大衆のものとせんために 戰はんかな いざ友よ同志よ 奮闘 奮けよ!!

3、因習の牆を打越え 積弊を却け 我等自ら滿鐵を 背負ひて進むべし いざ友よ同志よ 守れ滿鐵を!!

4、我等が行手には 內外に 如何に禍根の多くとも 何ぞ恐るべき いざ友よ同志よ 族を守れ いざ友よ同志よ ガツチリ腕を組め!!

春に魁けて

新京樂壇に初のお目みえ
カルメンの粧ひも美しく 佐藤美子さんの話

聲樂家佐藤美子孃の獨唱會は既報の通り一日午後六時半から新京高女講堂において開かれることとなつた、孃はさきに大連協和會において熱狂的賞讚を博し

建國第一周年を記念するため、新京に於ける音樂愛好家の切なる熱望を容れて來京することになつたのである

東京音樂學校研究科を優等で卒業すると直ちに樂壇に立ち一般から驚異の目を以て迎へられ、昭和二年と三年に日本音樂出演數のレコード、ホールダーとして大センセイションを殘して

渡佛以來
演奏を避けて

專ら聲樂を勉強すること五箇年、遂に世界最高の巴里ラムル－交響樂團で名指揮者アルベールウオルフ氏の棒で獨唱した

日本の生んだ世界的聲樂家としてフランスの音樂界の知名の士は孃に對して金の折紙をつけたほどである、新京に於けるプログラム中最終には曾て巴里の檜舞台で使用の衣裳そのままで同時の表情を以て

カルメン
の一節を獨唱

しやうといふので美しいその貌とともに必ずや一般の熱狂的な喝采を博するであらうと期待されてゐる（會費大人一圓學生小人半額）

滿洲國の

松花江便り
吉林游擊第二支隊長 日野武雄

松花江站

新京にて中東鐵路の人となつた方は誰れでもゴトゴト音を立てる軌道の繼目に堪らなく未消神經を刺劇されて相當の苦痛を嘗められ凡そ三時間も過ぎると張家灣と云ふペンチユラムにハンマーの鉄と五色の旗をヒラヒラさせてゐる一寸した驛に着く此處で諸君はやれ安心と辨當も買入用事も足せると云ふ驛である、そして此處いらでユッタリと歩いて居るルシア人を見て相當に奧に來たなあと云ふ感じを受ける。そこで此の驛から小さな驛を二つ通り過ぎると一時間で客間にあるシルバーの煙草入れを思はせる白亞の氣持の良い驛に着く此處が吾等の松花江驛である。……新京哈爾賓の中間所要時間四時間勿論として大きな驛ではないがあぐと起伏せる小丘、煙の立ち登る村落、馬の嘶く兵舍そして彼の紺碧の松花江が見え濁つた車內から一度に新鮮な大氣の中に解放される話の順予として驛から見たまま歩いて行つた儘を說明して行う此驛は云ふまでも無くソビエツトの經營である、軌道は驛の下を通つて松花江の川岸に達してゐる貨物線と新京哈爾濱間本線と二つある。從業員はロシア人五名滿人雜夫一名居る一日平均五十名位の乘客がある、平常時に於て驛の切符の扱ひ高に因つて其の土地の人口が知れると或る統計學者が云つたが其れは完成された都市か死灰山の如き村落にある驛に適應されるので現滿洲大都市及び此の地の樣に近き將來に於て必然的に發展を豫測される場所には必ずしも然りと云へない、數年を要せずして合理的な避暑地や誤樂場遊園地が生れ出て其れを取り巻く田園都市が創設されると思はれるので利權者が商賣人が現在いや今後もどしどし相當に視察に入り込んで來ると云ふ樣を過渡期にあるので此の統計學者の說は當て嵌らぬ、話しが少し橫道に入つたが私が最初に述べた樣に此處は椀を伏せた樣な小丘が澤山ある處で從つて驛も小丘の上にあるので新京から來る人が下車すれば右に小山を脊負ひ左に一村落を見下す事が出來るそして二つ橋頭堡と鐵橋を持つた松花江は東に見える驛である右の小山を越えれば其處に百戶許りの老小溝と云はれる村落があり一寸した雜貨店食料店女郎屋がある。要するに諸君は此の驛が二つの小丘の間に存在して居ることが解つた事と思ふ

內藤軍醫遺族
感謝

萬寶山附近の匪情偵察に同乘不幸敵彈のため殉職した內藤軍醫遺族から本社宛左の謝狀を寄せた

謹啓、故長男陸軍一等軍醫正七位內藤公平客冬新京に於て戰死相遂げ候に就ては多大なる御同情の下に盛大なる告別式を施行被下其際は御多忙の折柄にも拘はらず御會葬を辱ふし且つ御鄭重なる御弔詞及び過分なる御供物を手向けられ御芳志誠に難有感謝措く能はざる所に御座候。遺骨は一月八日所屬金澤幡重兵第九大隊に於て光輝ある慰靈祭の式典に浴し陸海無事同十五日郷里の臺中市に歸着即日臺中市公會堂に於て熱誠溢る、市葬執行の光榮に浴し申候以上は寔に我が一家一門の榮譽として永久に忘る能はざる所に御座候御陰に依り同二十六日無滯中陰の法會相營み解忌に際し茲に謹みて御禮申上度斯に御座候敬具

追啓遺骨拜受の爲め金澤に出張したる公平義兄事寒暖を異にする內臺長途の旅行と殆んど不眠不休の疲勞に依り著臺前より惡性の寒冒に罹り式典終了と同時に臺北淡水の任地に歸臥最近小康を得義兄に藏せし金鵄勳章隊にて受領せし新京告別式芳名錄を探り出したる樣の始末にて御答禮甚だ手遲れを生じ申譯無之候何卒事情御洞察御寬恕相成度茲に御詫を兼ね乍延引更めて御禮申述度候 頓首

昭和八年二月十九日
臺中市敷島町五丁目十三番地
實父 內藤材三
未亡人 同 三重

戀の黒船往來

禁轉載上映及上演

(作)寺島柾史　(畫)布施長春

第三十一回

春の草野(一)

三本マストの黒船が二隻、玩具のやうにうかんでゐる。その黒船を眺望しながら、なにごとか深く考へ込んでゐるのが、いつぞやフランス軍艦の甲板で狼藉をはたらき、多數の水兵たちに追はれ、船首の突端から身を躍らして消えたあのときの藤野の番屋の雇船夫すなはち若い蘭學書生松井白軒が世を忍ぶ假りの姿だつた。

やはり、貧しい、愚鈍な漁夫姿である。アッシにほ木綿の前垂を締め、手拭で頬かむりしてゐる。

白軒の傍には若い女性がつゝましく草に坐つてゐた。亞麻毛がゝつた髪、くぼんだ沼のやうな大きな眼、端麗な鼻、薄い口びる、灰白色を帶びた皮膚の色……ピリカメノコだ。和人からみれば美しいとおもふほどではないが、アイヌ同士の眼にはよほど魅力のそなはつてゐる顔容だらう。

かの女は、無心か有心か、じいつと海を眺望してゐる白軒の横顔に惚々と見入りながら、小聲で口ずさんでゐる。

トミン　カリクル
カムイ　カリクル
インヤンケクル
カムイラメトク
パアセ　カムイ
……………

白軒は、そのときやつと振かへつた。

『それは、なんの歌かね』

『しりません』

女は瞳を動かさず單純に笑顔をつくつた。

『カムイといふのは、神樣のことだつたのう』

白軒は、このごろやつと少しばかりアイヌの言葉を覺えたので、それがいちゝゝ珍らしかつた。同樣にこの土人娘も内地語を倣してゐた。

『そうてす』

潮音のできぬ女のことばゝ、それだけに愛らしいものがあつた。

『どういふ意味なのかね、そのパアセカムイといふのは?』

『あんたのやうなふとのことです』

『はゝゝゝ。おれを神樣だといふのかい?』

『あんたは、オキヽリムイみたいふとです』

『ほう、神のやうに智慧があり、情深い、勇氣のあるえらい人だとおれを買被るのだね。……ところが、このとほりの意久地なしさ。いつかのやうに船から突落されて溺れ死ぬやつを、夜釣りの漁師にたすけられたやうな、オツペ……尻尾の切れた奴さ』

『いゝえ、あんたの聲はカッコウ……カッコウ島のやうに美しく、はつきり耳に響くから、はつきり、みんなによくわかるやう物言ふ人は、偉い人にちがひありません』

『ほう、その觀察は面白い。何事にも直感でものをいふ、お前達のことば、それ自身が詩ぢや、歌ぢや』

白軒は、まぶしさうに見上げるピリカメノコのやはらかな手を[illegible]はずとつた。

そよ吹く風にも、甘い花の香がまじつてゐる。

亞麻色の髪の所有者、澄んだ大きな沼のやうな眼の持主、このピリカメノコはこのあたり漁場の第一の親方サシブトの愛娘で、その名をサブヌイといつた。

ひと月ほど前、夜釣りの漁師にたすけられ、この濱へ送られて來た佐次郎(松井白軒が世を忍ぶ假りの名)といふ若い和人――その白皙端麗な容姿に、いつかこゝろを寄せてゐるアイヌ娘なのだ。

かの女は、睫毛の長い圓らな眼で、じつと白軒の佐次郎をみあげてゐる、アイヌ娘の一本氣な、無[illegible]